

石川県立歴史博物館

年 報

第 23 号
令和2年度

発行にあたって

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有のパンデミックにより、博物館活動の多くが実施困難となりました。4月に緊急事態宣言が全国に発令されたことにより6月までは臨時休館を余儀なくされ、再開後も日本博物館協会の定めるガイドラインや石川県の方針にのっとり、入館者の人数制限や検温・消毒といった各種対策を講じました。

展覧会については、予定されていた3つの特別展と2つの企画展のうち、夏季特別展「大加州刀展」および秋季特別展「アトウイ」は翌年度以降に延期となりました。さらに、冬に予定されていた企画展「加賀藩の文芸文化」を夏に、春季特別展「加賀藩江戸屋敷」を秋に会期を変更し、スポット展および企画展「れきはくコレクション2020」を開催しました。秋季特別展「加賀藩江戸屋敷」は、加賀藩江戸屋敷のうち本郷邸における儀礼と暮らしにスポットを当てた展覧会で、東京大学の長きにわたる発掘調査の成果を一堂に公開するとともに、加賀前田家の当主やその子女、江戸詰の藩士たちの江戸での暮らしを紹介する機会となりました。会期が変更となったにもかかわらず、秋季に開催することについてご理解をいただいたご所蔵者をはじめ、関係各位にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

教育普及活動は、毎年受け入れてきた職場体験が中止となったほか、学校団体を中心に多くの利用者でにぎわう「歴史体験ひろば」が感染拡大防止の観点から閉室となりました。これに伴い、ボランティアの活動も中止となり、ワークショップなどのイベントのうち講座以外のものは中止いたしました。こうした状況の中、ホームページやSNSを通じて博物館活動を発信し、博物館が相互に情報交換しながら交流するプラットフォームを作る動きが各地で始まり、当館においても北海道博物館が中心となって進められた「おうちミュージアム」の事業に賛同し、「おうちで楽しむ石川れきはく」というハッシュタグを付け、公式Twitterを通じた情報発信に力を入れました。

このたびの経験をもとに、時には原点に戻りながら、これからも新しい博物館のあり方を模索していくことになると思います。令和2年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

目次

基本構想・利用案内	… 2	2. 職員名簿	… 35
I. 令和2年度の事業		3. 予算及び決算	… 35
1. 展示活動	… 3	4. 事務分掌	… 36
2. 調査研究活動	… 19	5. 各種委員会	… 37
3. 資料収集保存活動	… 20	6. 入場料について	… 38
4. 教育普及活動	… 24	IV. 関連条例・規則	
5. 入館者状況	… 29	1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例	… 39
II. 施設概要		2. 石川県立歴史博物館管理規則	… 39
1. 設備概要	… 30	3. 石川県立歴史博物館使用料条例	… 42
2. 各棟室面積一覧	… 32	4. 石川県立歴史博物館使用料施行規則	… 42
3. 館内平面図	… 33	V. 日記(抄)	… 44
III. 組織と運営		VI. 各種書式	… 45
1. 職員組織	… 35		

基本構想

石川の歴史と文化を正しく、楽しく学習する拠点施設としての機能を充実するとともに、より多くの県民の方々や観光客に訪れて頂けるよう、国指定重要文化財としての建物の魅力や本多の森公園の立地環境を生かしながら、周辺施設と連携協力し、親しみやすく利用しやすい博物館とする。

(1) 誰もが楽しく学べる博物館

訪れるたびに新鮮な驚きと発見／感動があり、楽しく学べるとともに、探求心を育む博物館を目指す。

(2) ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館

フリーゾーンを新設し、誰もが気軽に立ち寄り、本多の森公園の緑や国指定文化財の赤レンガ建物が持つ落ち着いた雰囲気の中でゆったりくつろぎ、様々な交流が生まれる博物館を目指す。

(3) 人に優しい博物館

様々な人々が快適に利用できる博物館、石川の歴史や文化に関する資料を大切に保管し、未来へと伝える博物館を目指す。

利用案内

開館時間 9:00～17:00 (展示室への入室は 16:30 まで)

休館日 年末年始(12月29日～1月3日)、資料の展示替え・整理の期間

観覧料 [常設展] 個人 一般 300 円 大学生 240 円 高校生以下無料 65 歳以上 240 円
団体(20人以上) 一般 240 円 大学生 190 円
*加賀本多博物館との共通券(常設展のみ) 一般 500 円 大学生 400 円

[特別展] 展覧会毎に料金設定

交通案内 徒歩／兼六園から約 3 分

バス／北陸鉄道バス出羽町下車徒歩約 5 分

広坂・21 世紀美術館下車徒歩約 8 分

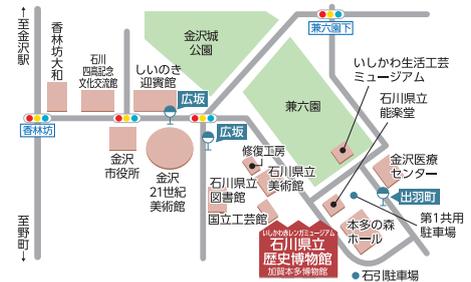
タクシー／JR 金沢駅から約 10～15 分

自動車／北陸自動車道

金沢西 IC・森本 IC から約 10～30 分

駐車場 30 台 (無料)

所在地 石川県金沢市出羽町 3-1



I. 令和2年度の事業

1. 展示活動

(1) 常設展示

「石川県の歴史と文化」をテーマとした総合展示。実物資料のほかジオラマや模型、モニターや大型スクリーンによる映像、パネルなどを駆使し、分かりやすく紹介している。ポイントとなる模型や展示資料は4ヶ国語の音声ガイドによって解説を加え、学習効果を高めている。

第1展示室

[導入映像] (展示室入口)

現代から過去へ、映像がフラッシュバックしながら、各時代を代表する出来事を交えて石川の歴史を紹介。



導入映像

I 豊かな自然となりわい

狩猟採集から米作りへ

豊かな大地に育まれた太古の暮らしを探る

1 森と海に生きる縄文人

- 縄文人の祈りと造形
- 謎の巨大木柱
- 気候変動と狩りの変化
- よみがえる縄文犬
- 海のなりわい
- 森のなりわい
- 漆工芸のはじまり

2 米作りと農耕社会の成立

- 水田稲作の伝来
- 弥生集落の風景
- 倭国大乱の時代
- 玉作りと鉄器の流通



「よみがえる縄文犬」
復元品

II 日本海を行き交う人びと

東アジアに広がる交流、日本海が醸し出す文化 加賀・能登の国の始まりを見つめる

1 日本海交流と東アジア

- 古墳の出現
- 加賀・能登の古墳と豪族
- 須曾蝦夷穴古墳と渡来文化
- 東アジアとの交流
- 渤海使と古代の湊
- 海を渡ってきたモノたち



蝦夷穴古墳模型

2 能登国・加賀国の誕生

- 律令制と地域史社会
- 加賀郡榜示札と農民の暮らし



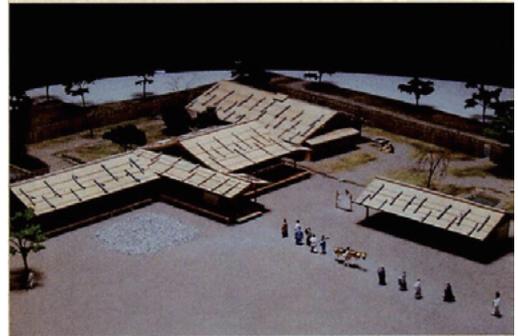
古代の御触書「加賀郡榜示札」

III 武士と一揆

武家政権の成立から加賀の一向一揆へ
くり返される戦乱の時代を生きた人びとの姿に迫る

1 武士の世へ

- 源平争乱と白山宮
- 堅田館跡
- 荘園と海のネットワーク
- 荘園のひろがり
- 珠洲焼



「堅田館一鎌倉時代の
加賀有力武士の館」模型

2 信仰の世界

- 加賀・能登の神と仏
- 新仏教の受容と展開
- 時宗
- 白山信仰
- 禅宗
- 石動山
- 日蓮宗

3 一揆の時代

- 能登島山氏と七尾
- 戦国末期の能登情勢
- 加賀の一向一揆百年
- 大坂本願寺合戦と北陸
- 能登島山氏
- 百姓ノ持タル国
- 長享の一揆
- 一向一揆の終局
- 七尾城下の繁栄
- 真宗のおこり
- 金沢御堂と寺内町
- 古文書にふれてみよう

IV 加賀藩の政治と文化

戦国の世から前田家の治世へ
安定した社会の中で育まれた文化、生活の諸相をひもとく

- 天下人の時代

1 加賀藩の成立

- 加賀前田家と江戸幕府
- 藩士の身分
- 改作法と村御印
- 学問と教育
- 金沢城



「大名行列が行く」大型パネル

2 加賀藩政の展開

- 城下町金沢
- 金沢町人の暮らしと文化
- 北前船と加賀・能登

3 幕末の加賀藩

- 藩財政の立て直し
- 村々の生活
- 飢饉と災害
- 海防と銃卒
- 幕末の混乱と加賀藩



城下町金沢の暮らしと町並み模型

第2展示室

V 近代国家と石川県

石川県の誕生、そして激動の時代へ
近代化の道のりと人びとの生活の変化をたどる

[近現代導入映像] (展示室入口)

1 武士の近代

- 石川県の誕生
- 「百万石」の武士から士族へ
- 紀尾井町事件
- 屯田兵と前田村

2 「美術工業」の時代

- 銅器会社と田中孫平
- 輸出工業
- 吉之助と米次郎
- 博覧会と博物館

3 日清・日露戦争と県民

- 日清戦争と兵士
- 日露戦争と県民
- ロシア軍捕虜の生活
- 北陸線と金沢駅
- 背囊を持ってみよう

4 特別名勝「兼六園」

5 デモクラシーとモダン

- 静かな米騒動
- 普通選挙と青年党
- モダニズムと大衆文化

6 戦争の時代と民衆

- 空襲をまぬがれた戦争
- 戦地と兵士
- 七七禁令と代用品
- 戦争と人びとの祈り
- 満蒙開拓の光と影

7 復興と成長の日々

- 占領・引揚・復興
- 内灘闘争
- 高度成長から安定成長の時代へ
- 戦後の住宅政策と石川県



紀尾井町事件映像



特別名勝「兼六園」模型

VI 加賀・能登の祭り

神と人がひとつになる厳粛な世界
心浮き立つ勇壮華麗な世界
祭り文化の多様性を見つめる

1 神と人の饗宴

○県内の特色ある祭り料理[神饌]をテーマに展示している。



神饌

◇一宮の神饌

■例大祭・夕御饌祭 ■平国祭

◇豊作への祈り

■ふきのと祭り ■もっそう祭り ■十七夜祭り ■いどり祭り
■おけら祭り

◇生贄伝説の世界

■如月祭 ■叩き堂祭り ■青柏祭 ■小串祭り
■春祭り ■大幡郷社祭り ■鯖踊り神事 ■弓引き祭り
■猿鬼の遺品

2 祭礼風流の世界

○曳山や鉾・屋台・造り物・練り物など華やかな出し物をテーマに祭礼遺産を更新しながら展示している。

◇いしかわの祭礼風流

■高松の長行灯 ■青柏祭
■金沢の曳山 ■近江町の大行灯
■お旅祭り ■華やかな祭礼練り物
■キリコ祭り ■加賀・能登の地芝居
■片町の絵行灯飾り ■先触れ面

◇城下の祭礼と興行

■ハレの飾り ■ハレのガイドブック
■幻の大祭 ■金沢の祭礼能
■祭礼と興行 ■踊り唄の出版
■百万石祭りの源流 ■金沢の獅子舞
■軍隊・学校・会社の祝祭

◇祭礼体感シアター



祭礼体感シアター

(2) その他の施設

第1棟 歴史発見館

1階 休憩室・姉妹館交流コーナー

当館と韓国国立全州博物館の姉妹館交流について紹介している。

2階

特別展示室

自主企画展示のほか、話題性のある魅力的な大型展示を開催する。

企画展示室

歴史博物館が所蔵する優品やコレクション、さらには常設展を補うテーマ性の高い内容を定期的に更新しながら展示する。

第2棟 交流体験館

1階 いしかわウェルカムラウンジ

総合案内・発券

ミュージアムショップ

歴史博物館のオリジナルグッズなどを販売する。



いしかわウェルカムラウンジ

建物100年ギャラリー

歴史博物館の建物である旧陸軍兵器庫兵器支廠について、建築当時やその後の保存修復などの写真を中心に、その歴史と重要文化財としての価値、魅力を紹介している。また、大きな窓ガラスからは、第3棟のレンガ壁や辰巳用水モニュメントを見渡すことができる。

兼六園周辺文化の森模型

兼六園周辺に多数ある文化施設の情報や見どころを紹介し、周辺への回遊を促す。また、兼六園周辺の空撮写真や古地図から、地域の変遷を学習することができる。



兼六園周辺文化の森模型

石川歴史・観光マップ（タッチモニター）

もっと知りたい石川クイズ、石川県の観光情報、石川県の文化財の3つのコンテンツを楽しむことができる。

なりきりショット

スクリーンに写しだされた絵画や古写真に画像に自身の顔を合成して、カメラで撮影して来館の記念にできる。

石川大パノラマ

大正～昭和前期にかけて全国各地の鳥瞰図を描いた吉田初三郎(1884～1955)が、石川県から依頼されて1933(昭和8)年に描いた「石川県鳥瞰図」を紹介。地図の中から21か所のポイントを選び、詳しい説明を加える。

1階 れきはくロビー

ミュージアムシアター

「城下町金沢を歩く」と題した映像番組を放映。加賀藩と城下町金沢の成立、城下町金沢の構造と特色、そして館蔵品の「金沢城下図屏風」をテーマとする。また、期間限定で特別展などに合わせた映像などを放映する。

ギャラリー

一般県民の展示活動に利用できる貸スペース。



ミュージアムシアター

2階 歴史体験ひろば・多目的ホール

実物資料や模型資料に直接触れ、また使ってみることによって、歴史の面白さを味わうことのできる体験コーナー。幼児から大人まで、幅広い年齢層が楽しむことができる。

また、多目的ホールとして、講演会やセミナー、ミニコンサートなどの行事を開催している。



歴史体験ひろば

〔主な体験メニュー〕

- ・昔の衣装体験－十二単の貴婦人、甲冑武士、武家のお姫様など
- ・昔の遊び体験－貝合わせ、盤双六、羽つきなど
- ・昔の乗り物で記念撮影－人力車、駕籠
- ・歴史資料に触れる体験－石器、土器、小判、十手など
- ・山の民家－囲炉裏、石臼、蓑笠、燭台など
- ・昔の学校－椅子、机、黒板、教科書、参考書など
- ・未就学児向け歴史体験(ひよこのひろば)－はにわボウリング、歴史まも当てなど

情報コーナー

歴史博物館の所蔵資料に関する情報（実物資料・文献資料・画像など）を提供。また、閲覧室や学習相談室としても活用することができる。

ワークショップルーム

実技講座をはじめ研究会・講習会・展示説明会など、幅広い年齢層の人びとが参加できる行事を開催している。

ほっとサロン

庭園の景色や建物の外観を眺めながら、ゆったりとくつろげる休憩コーナー。



ほっとサロン

*令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため「歴史体験ひろば」・「情報コーナー」は閉室した。

(3) 特別展

秋季特別展
「加賀藩江戸屋敷
一本郷邸の儀礼とくらしー」

江戸時代、政治の中心地・江戸には諸大名の屋敷が整備され、加賀藩では「赤門」で知られる本郷の屋敷が長く拠点として機能しました。ここは藩主から足輕にいたる数千人のくらしの場であると同時に、将軍を迎える御成や藩主の婚礼など、大名ならではの行事が行われた場でもありました。

本展では、将軍徳川家光・大御所秀忠の御成や、前田家13代齊泰の正室・溶姫の御輿入れといった、本郷邸で行われた行事に迫り、東京大学による調査で出土した考古資料を中心に、加賀藩の江戸屋敷での生活もあわせて紹介しました。



チラシ

- 会 期** 令和2年10月10日(土)～令和2年11月8日(日) ※会期中無休
前期：10月10日(土)～10月23日(金) 後期：10月24日(土)～11月8日(日)
- 時 間** 9：00～17：00 (展示室への入室は16：30まで)
- 観 覧 料** 《春季特別展のみ》
一般 1,000円(800円)、大学生 800円(640円)、高校生以下無料
《春季特別展と常設展のセット料金》
一般 1,040円、大学生 830円
※()内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金
- 会 場** 特別展示室 企画展示室
- 展示構成** 序章 本郷邸の沿革 / 第1章 御成ー将軍を迎えるー / 第2章 大名の婚礼ー姫君を迎えるー / 第3章 掘り出された日常 / 第4章 大名火消の華・加賀鳶
- 催 物** **れきはくゼミナール** (聴講無料・要事前申込)
「江戸屋敷の食と器」
日 時：10月17日(土) 13:30～15:00
講 師：野村 将之(当館学芸員)
会 場：ワークショップルーム
聴講者：40名
- 特別展のみどころ解説** (要特別展チケット・要事前申込)
日 時：①10月11日(日) 13:30～14:00
②10月31日(土) 10:30～11:00
③10月31日(土) 13:30～14:00
講 師：当館学芸員
会 場：ワークショップルーム
聴講者：①：16名 ②：23名 ③：13名



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



れきはくゼミナール



展覧会のみどころ解説



出品資料一覧

[前期]10月10日(土)～10月23日(金)

[後期]10月24日(土)～11月8日(日)

※展示期間の明記がない資料は会期中全期間展示

[凡例] ◎重要文化財 □石川県指定文化財 △市町指定文化財

序章 本郷邸の沿革

No	指定	作品名	員数	年代	所蔵先	展示期間
1		江戸図屏風(肉筆複製)	1双	原本江戸時代(17世紀)	国立歴史民俗博物館	前期:左隻 後期:右隻
2		金箔瓦	6点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
3		萬寿御江戸絵図 江戸馬喰町菊屋幸三郎原版	1枚	慶応3年(1867)	本館	
4		湯島本郷小石川駒込辺図	1枚	嘉永2年(1848)	本館	

第1章 御成一将軍を迎えるー

(1)御成の儀礼と調度品

No	指定	作品名	員数	年代	所蔵先	展示期間
5	△	駕籠 徳川家光所用	1挺	江戸時代(17～19世紀)	個人	
6	□	将軍様相国様御成之次第 (板津作左衛門手写)	1冊	江戸時代(17～18世紀)	金沢市立玉川図書館	
7	◎	洞庭秋月図 玉潤筆自賛	1幅	中国・南宋(13世紀)	文化庁	前期展示
8	◎	十五首和歌 藤原定家自筆	1幅	安貞元年(1227)	(公財)前田育徳会	後期展示
9		舶載陶磁器	3点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
10		火鑽板	1点	寛永6年(1629)力	東京大学埋蔵文化財調査室	
11		かわらけ・箸・折敷	14点	寛永6年(1629)力	東京大学埋蔵文化財調査室	
12	□	御成之次第	1冊	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
13	□	御成留帳	1冊	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
14	◎	百工比照 鳥籠釘隠 第三号箱第五架第三重	1点	江戸時代(17～18世紀)	(公財)前田育徳会	前期展示
		百工比照 花籠釘隠 第三号箱第十架第三重	1点	江戸時代(17～18世紀)	(公財)前田育徳会	後期展示

14	◎	百工比照 虫籠釘隠 第六号箱第一二抽斗	1点	江戸時代(17～18世紀)	(公財)前田育徳会	後期展示
		百工比照 花籠釘隠 第六号箱第二〇抽斗	1点	江戸時代(17～18世紀)	(公財)前田育徳会	前期展示
15	◎	枕草子 第4帖 附雲形蒔絵箱	4帖 のうち 1帖	鎌倉時代(13世紀)	(公財)前田育徳会	前期展示
16	◎	茄子茶入 銘富士	1口	中国・南宋(13世紀)	(公財)前田育徳会	後期展示
17	◎	茶杓 千利休作	1本	桃山時代(16世紀)	(公財)前田育徳会	後期展示

(2) 饗宴の世界

18		磁器 大皿	3枚	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
19		磁器 色絵大皿	3点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
20		磁器 染付皿・小坏	16点	元禄16年(1703)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
21		木簡	5点	寛永6年(1629)力	東京大学埋蔵文化財調査室	
22		蒲鉾板・焼塩壺	6点	寛永6年(1629)力	東京大学埋蔵文化財調査室	
23	□	御成一巻	1冊	文政10年(1827)	金沢市立玉川図書館	

第2章 大名の婚礼—姫君を迎える—

(1) 御守殿の整備と浴姫の御輿入れ

No	指定	作品名	員数	年代	所蔵先	展示期間
24		江戸御上屋敷惣御絵図 ①江戸御上屋敷絵図	1枚	天保11年(1840)～ 弘化2年(1845)	金沢市立玉川図書館	
25	□	本郷御住居御飾附等留 ①御住居御飾附	1冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
26	□	本郷御住居御飾附等留 ②本郷御住居御間飾絵図面	1冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
27	□	本郷御住居御飾附等留 ③御住居御間絵図	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
28	□	加賀守様浴姫君様御婚礼一件 ①御婚礼御座敷御祝建	1冊	文政10年(1827)	金沢市立玉川図書館	
29	□	加賀守様浴姫君様御婚礼一件 ③御婚礼御式御献立	1冊	文政10年(1827)	金沢市立玉川図書館	
30		育徳園図	1幅	江戸時代(19世紀)	(公財)前田育徳会	前期展示
31		『松乃栄』3代歌川国貞	1枚	明治22年(1889)	東京大学総合図書館	後期展示
32		浴姫君様御行列附	1冊	天保6年(1835)	本館	
33		加賀藩江戸本郷邸泥絵	1面	江戸時代(19世紀)	本館	
34		加賀藩江戸本郷邸泥絵	1面	江戸時代(19世紀)	個人	
35	□	浴姫君様御引移御用 巻①	1冊	未詳	金沢市立玉川図書館	
36		浴姫君様御細工御袂提	12点	江戸時代(19世紀)	個人	
37		黒漆塗葵紋に若松唐草散し 蒔絵化粧道具	13点	江戸時代(19世紀)	個人	
38	□	皆子餅御献上行列書	1冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
39	□	御通抜御用留(渡辺喜内筆)	1冊	文政11年(1828)	金沢市立玉川図書館	
40		雨竹雪竹図 浴姫筆	2幅	江戸時代(19世紀)	本館	

(2) 浴姫御殿でのくらし

41		浴姫御殿跡出土染付磁器	4点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
----	--	-------------	----	------------	--------------	--

42		溶姫御殿出土色絵小坏	3点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
43		溶姫御殿出土色絵段重	1点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
44		溶姫御殿出土化粧道具・簪	6点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	

第3章 掘り出された日常

(1) 長局・女性のくらし—梅の御殿—

No	指定	作品名	員数	年代	所蔵先	展示期間
45		加賀藩江戸本郷邸絵図	1枚	江戸時代(19世紀)	個人	
46	□	梅御居宅惣絵図	1枚	文化3年(1806)	金沢市立玉川図書館	
47		梅之御殿跡出土染付大皿	2枚	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
48		梅之御殿跡出土陶磁器	8点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
49		木製品 釣瓶	1点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	

(2) 勤番武士のくらし—詰人長屋での生活—

50	□	東邸沿革図譜(富田景周著) ②巻之下	1冊	文政6年(1823)	金沢市立玉川図書館	
51		加賀藩江戸御上屋敷長屋絵図	1冊	江戸時代(19世紀)	本館	
52		黒多門邸跡出土食膳具	5点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
53		黒多門邸跡出土調理具	2点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
54		漆器碗・杓子	4点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
55		黒多門邸跡出土灯明具	3点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
56		黒多門邸跡出土信仰具	3点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
57		木簡	2点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
58		金属 仏像	1軀	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
59		黒多門邸跡出土煙管	2点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
60		石製品 碁石	6点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
61		刀装具	5点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
62		鏡・櫛	2点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
63		黒多門邸跡出土文房具・砥石	4点	天和2年(1682)火災資料	東京大学埋蔵文化財調査室	
64		木製品 下駄	4点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	

(3) 本郷邸の娯楽

65		土人形	6点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
66		箱庭用具	13点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
67		ミニチュア陶磁器	5点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
68		木製玩具	5点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
69	□	御用番方留帳 巻⑫・巻⑬	2冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
70		人形	7点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	

(4) 本郷邸の食生活

71	□	御献立留帳	1冊	明治8年(1875)	金沢市立玉川図書館	
72		御殿空間出土魚骨・貝類	52点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	

73		長屋空間出土魚骨・貝類	67点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
74		焼塩壺・蓋	6点	江戸時代(17世紀・19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
75		徳利	4点	江戸時代(19世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	

(5) 本郷邸の信仰

76		前田家本郷屋敷略図	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
77		江戸名所記 卷二 浅井了意筆	1冊	寛文2年(1662)	江戸東京博物館	
78		増補江戸年中行事	1冊	文化元年(1804)	本館	

第4章 大名火消の華・加賀鳶

(1) 本郷邸の火災とその備え

No	指定	作品名	員数	年代	所蔵先	展示期間
79	□	江戸火事覚書	1冊	天和3年(1683)	金沢市立玉川図書館	
80		大工道具	7点	江戸時代(17世紀)	東京大学埋蔵文化財調査室	
81		大名火事装束 前田斉泰所用	1領	江戸時代(19世紀)	(公財)前田育徳会	前期展示
82		羅紗緋地波兎紋装束 前田慶寧所用	1領	江戸時代(19世紀)	(公財)前田育徳会	後期展示
83		御参勤御供中日記 小川仙之助筆	1冊	安政2～3年(1855～1856)	本館	
84		関東大地震末代噺の種	1冊	安政2年(1855)	本館	

(2) 加賀鳶の成立と組織

85	□	火事方武州本郷屋敷御樂場図	1枚	江戸時代(17世紀)	金沢市立玉川図書館	
86	□	江戸御屋敷火事之節 御行列寄場之絵図	1枚	江戸時代(18世紀)	金沢市立玉川図書館	
87		加賀藩火消行列帳	1冊	江戸時代(17～18世紀)	本館	
88		加賀鳶行列近所火消方法	1冊	江戸時代(18～19世紀)	本館	
89	□	火事御定	1冊	嘉永5年(1852) 手写	金沢市立玉川図書館	
90		加賀鳶行列図	5枚続のうち 4枚	文政10年(1827)～ 天保6年(1835)	金沢市消防本部	
91	□	諸役交名調理帳 ③火消方御合紋並道具	1冊	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
92		火消方御行列附	1冊	天保13年(1842) 写	本館	
93		御近所火消御行列	1冊	江戸時代(19世紀)	本館	
94		江府火事方目録	1冊	江戸時代(19世紀)	本館	
95		革羽織	1	江戸～明治時代	金沢くらしの博物館	
96		火事装束	1領	江戸時代	金沢くらしの博物館	
97		火事頭巾	3頭	江戸時代	1・2:金沢くらしの博物館 3:本館	
98		鳶口	2本	江戸～明治時代	本館	
99		龍吐水	1	江戸～明治時代	金沢くらしの博物館	
100	□	江戸状留書抜 卷③	1	未詳	金沢市立玉川図書館	

(4) 企画展・スポット展示

夏季企画展

「加賀藩の文芸文化—万葉集から狂歌まで—」

『万葉集』に端を発する和歌文化は、身分を問わず人々が心の思いを吐露する手段として発展・継承されてきました。平安時代に誕生した仮名文字（ひらかな）は、その方向をさらに推し進め、儀礼の一部にも取り入れられるようになりました。また、天皇が和歌集の編纂を命じ、歌会や歌合せ、連歌といった教養・娯楽の側面も発展してきました。江戸時代には井原西鶴や松尾芭蕉の登場で、連歌・俳諧が大いに広まり、庶民層を中心に広く浸透し、川柳や狂歌も誕生しました。加賀藩領内では、文芸の各ジャンルがうまく融合し、茶道や華道などとともに後代「百万石文化」と称されるブランドの基盤を形成してきたのです。

本展では、単なる作品の鑑賞にとどまらず、資料の成立に至る背景や持っている歴史をわかりやすくご紹介します。



ポスター

- 会 期 令和2年7月18日(土)～9月6日(日)
*8月11日(火)は休室
- 時 間 9:00～17:00 (展示室への入室は16:30まで)
- 会 場 企画展示室



展示風景



展示風景

出品資料一覧

No.	指定	資料名	点数	時代
1	◎	春日懐紙・春日本万葉集	17	鎌倉時代
2	□	畠山義総関係文書	9	室町後期
3		七十一番職人歌合	3	
4		藤原秀能奉書	1	
5		伊勢物語（武田本写本）	1	桃山
6		前田綱紀書（夕暮れは）	1	江戸・17世紀
7		前田重教公筆正月懐紙	1	江戸・18世紀
8		三十六歌仙色紙貼交屏風	2	江戸・19世紀
9		大応院筆三十六歌仙	1	江戸・18世紀
10		前田直方三十六人歌合写	1	（寛政11）乙未2月
11		歌仙色紙之事	1	
12		六玉川歌意図屏風	2	江戸・19世紀
13		真龍院和歌懐紙	1	江戸・19世紀
14		真龍院和歌懐紙（名所河）	1	江戸・19世紀
15		百人首巻	1	宝永3年（1706）
16		山本源右衛門書巻	1	宝永3年（1706）
17		連歌百韻	1	正保3年
18		賦初何連歌	1	寛文2年
19		佐々木泉景画帖（自讃歌）	1	天保11年（1840）
20		新井白蛾筆小倉百人首折衷本	5	江戸後期
21		能順短冊幅	1	江戸・17世紀
22		連歌 梅の雫	2	正徳4年（1714）
23		加賀千代自画賛幅	1	
24		松尾芭蕉書状幅	1	元禄4年（1691）
25		奥の細道（素龍本）	1	元禄7年（1694）
26		奥の細道（去来本）	1	元禄8年（1695）
27		奥の細道（蝶夢本）	1	明和7年（1770）
28		千代尼句集	2	
29		加賀千代尼書画幅	1	
30		珈凉自画賛幅	1	
31		珈凉自画賛幅	1	
32		珈凉句画賛幅	1	
33		蕪村画三十六ヶ仙	36	
34		俳諧百一集	1	天保8年（1837）
35		俳諧一百一首之図屏風	2	江戸後期
36		流聞軒其方狂歌絵日記	4	江戸・18世紀
37		初夢画賛（西南宮・泉景）	1	江戸・19世紀
38		西南宮鶏馬書画幅（金沢の四季）	4	江戸・19世紀
39		秀川画竹馬亭友也編狂歌奉納額	1	弘化5年（1848）
40		夷曲百人一首	1	江戸・19世紀
41		金沢八景詠草（奥村栄滋）	8	江戸・19世紀
42		初午画賛（成田蒼虬句、梅田年風画）	1	文政12年（1829）
43		金沢八景図屏風	2	江戸末期

企画展

「れきはくコレクション2020」

当館では、石川県の歴史と文化に関わる資料を体系的に収集しています。本展では、2020年に寄附を受けて新たに収集した資料を公開しました。

会 期 令和3年2月13日(土)～3月21日(日)
*会期中無休
会 場 企画展示室
時 間 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)
展示解説 2月21日(日)13:30～14:30「加州刀・能登上布」
会場：ワークショップルーム 参加者：16名
3月14日(日)13:30～14:30「近世・近代の文書」
会場：ワークショップルーム 参加者：8名



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景



展示解説

スポット展示

①「砂丘に消えた港町」

会 期 令和2年7月18日（土）～9月6日（日）

時 間 9：00～17：00（展示室への入室は16：30まで）

会 場 特別展示室

内 容 気候変動により砂丘に消えた中世の港町、普正寺遺跡の出土品を展示。

出品資料 越前甕（13世紀） 本館蔵 ほか30点

②「江戸時代の東本願寺再建絵巻—寛政度の再建と真宗門徒—」

会 期 令和2年11月21日（土）～同3年1月24日（日）

※12月28日～1月3日は休館 ※会期中に巻替えを行った

時 間 9：00～17：00（展示室への入室は16：30まで）

会 場 特別展示室

内 容 北陸の門徒も参加した寛政度の東本願寺再建の歴史について、最近の研究成果を踏まえながら紹介。

出品資料 寺院縁起絵巻 江戸時代（18-19世紀） 本館蔵

③「反古を室にかえる—大鋸彦太郎コレクションの魅力—」

会 期 令和2年11月21日（土）～同3年1月24日（日） ※12月28日～1月3日は休館

時 間 9：00～17：00（展示室への入室は16：30まで）

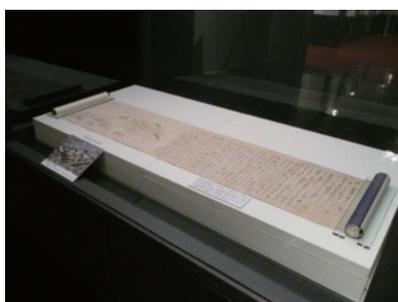
会 場 企画展示室

内 容 反古として捨てられた紙類を長年に渡り収集した大鋸彦太郎氏。大量の未整理資料の中から往時の生活・文化を伝える一端を紹介。

出品資料 昔今豪雄見競鏡 明治10年（1877）ほか約80件



砂丘に消えた港町



江戸時代の東本願寺再建絵巻
—寛政度の再建と真宗門徒—



反古を室にかえる
—大鋸彦太郎コレクションの魅力—

◆他団体主催の展覧会

「第44回伝統九谷焼工芸展」

会 期 令和3年3月5日（金）～3月14日（日）

団 体 名 石川県指定無形文化保持団体 九谷焼技術保存会
（会長 竹腰 潤）

会 場 特別展示室

時 間 9：00～17：00（展示室への入室は16：30まで）

料 金 350円



2. 調査研究活動

(1) 紀要の発行

石川県立歴史博物館研究紀要 第30号（令和3年5月31日発行）

【論文】夕涼む群衆—金沢における遊歩文化／盛り場の展開— 大門 哲

【研究ノート】蔵宿文書と米商いについて—「蔵宿縄屋文書」の紹介を兼ねて— 濱岡伸也
京都北野社から加賀前田家への接近—北野上乘坊と小松梅林院— 塩崎久代

(2) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組み、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、地域の人々が身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう文化力向上を図る。

* 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大をうけ予定の事業を中止した。

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成3年1月15日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、ならびに環日本海文化の共同研究を目的として交流員を相互派遣し、交流記念展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡などの視察を行う。

* 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大をうけ予定の事業を中止した。

3. 資料収集保存活動

(1) 収集資料一覧

令和2年度

購入資料

分類	資料名称	点数	年代
1	歴史資料 北國夕刊新聞附録 当選十美人	1	大正時代
2	歴史資料 「政教新聞当撰高点十二美人」絵葉書	6	明治40年代
3	歴史資料 恋路浜より蛸島迄之惣図・三崎高勝寺高座山大宮司等惣図	1	江戸時代
			計3件8点

寄贈資料

分類	資料名称	点数	年代
1	美術品 刀 銘清光	1	桃山時代
2	美術品 刀 銘北藩藤原大寿作 田中半蔵正方佩刀	1	江戸時代後期
3	美術品 刀 銘賀州住兼若 寛文八年二月吉日 附 涅色潤漆虫喰塗打刀拵	1	寛文8年(1668)
4	美術品 刀 銘賀州住兼若 延寶六年二月吉日	1	延宝6年(1678)
5	美術品 脇指 銘賀州住兼若／以南蛮鉄造 附 黒漆蠟色塗鞘脇指拵	1	江戸時代前期
6	歴史資料 第四高等学校絵葉書	1	昭和時代初期
7	歴史資料 窺天鏡(筒型望遠鏡)	1	天保3年(1832)
8	歴史資料 平天儀図解(写)	1	江戸時代後期
9	歴史資料 家蔵書籍扣	1	江戸時代後期
10	歴史資料 先祖由緒并一類附帳	6	江戸時代後期～明治時代初期
11	歴史資料 漫遊雑記	1	江戸時代後期
12	歴史資料 芥子園画伝摘要	1	江戸時代後期
13	歴史資料 先祖由緒帳写	2	明治3年(1870)・明治5年
14	歴史資料 連句集(四季独庵)	1	文化7年(1810)
15	歴史資料 くもの巢の和歌短冊	1	江戸時代後期
16	歴史資料 芹齋書軸	1	江戸時代後期
17	歴史資料 松田壬作医術開業免許	1	明治17年(1884)
18	歴史資料 吉川光陽写真映像機器資材	211	大正時代～昭和時代
19	歴史資料 鈴木家資料(書籍類)	47	江戸時代～昭和時代
20	歴史資料 木刀	1	江戸時代
21	歴史資料 短刀 銘陀羅尼橘泰平	1	江戸時代
22	歴史資料 槍 平三角造	1	江戸時代
23	歴史資料 槍 平三角造 銘平安城石道助房	1	江戸時代
24	歴史資料 薙刀 銘千代鶴	1	江戸時代
25	歴史資料 第二代石川県令 桐山純孝関係資料	10	明治時代
26	歴史資料 前田齊泰七十歳書額	1	明治時代前期
27	歴史資料 双眼鏡(小川仙之助所用)	1	江戸時代末期
28	歴史資料 三百菴家文書	22	江戸時代後期
29	民俗資料 黒塗高足膳十組揃	4箱	明治時代
30	民俗資料 朱塗高足膳十組揃	4箱	明治時代
31	民俗資料 籬に菊桔梗図蒔絵桐火鉢	4	明治時代
32	民俗資料 天神人形	1	明治時代
33	民俗資料 黒塗熨斗に宝珠文蒔絵三方	1対	明治時代
34	民俗資料 瓶子	1対	明治時代
35	民俗資料 神酒口(宝船)	1対	明治時代
36	民俗資料 酒器	1対	明治時代
37	民俗資料 黒塗桜に若松図蒔絵丸形四段重	1	不明
38	民俗資料 黒塗松竹梅に扇面散し蒔絵五段重	1	不明
39	民俗資料 黒塗宝尽し文蒔絵五段重	2	不明
40	民俗資料 黒塗唐草文蒔絵五段重	1	明治時代

41	民俗資料	黒塗唐草文蒔絵重台	2	明治時代
42	民俗資料	朱塗松竹梅図蒔絵三重盃・朱塗盃台	1組	明治時代
43	民俗資料	朱塗松梅に鶴図蒔絵大盃・朱塗盃台	1組	明治時代
44	民俗資料	萌黄縮緬地重座布団	1	大正時代
45	民俗資料	緋縮緬地竹林の七賢図袱紗	1	大正時代
46	民俗資料	萌黄縮緬地風呂敷	1	大正時代
47	民俗資料	紺木綿地菊文様五幅風呂敷	1	昭和時代初期
48	民俗資料	婚礼用簪	8	大正時代
49	民俗資料	黒塗唐草に違柏紋蒔絵化粧箱	1	大正時代
50	民俗資料	黒塗唐草輪に違柏紋蒔絵針箱	1	大正時代
51	民俗資料	オボケ	1	大正時代
52	民俗資料	のし板	1組	大正時代
53	民俗資料	紺木綿地単衣長着	5	明治時代～大正時代
54	民俗資料	軍用コート	1	明治時代
55	民俗資料	馬医伝書	一括	江戸時代～明治時代
56	民俗資料	藁苞	3	江戸時代末期～明治時代
57	民俗資料	布目仕立店関係資料	89	大正時代～昭和時代初期

計57件461点

(2) 資料の保存

◆ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成18年度から、通常のガス燻蒸を中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO₂）を2～3週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。なお平成27年度より能登高等学校柳田校舎内の体育館を外部収蔵庫とし、環境調査を行っている。

(炭酸ガス殺虫)

- ① 作業概要 床面積4m×4mに高さ2mの32m³の容量を持つテントに炭酸ガス(CO₂)を充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 令和2年度は1回実施(10月17日～10月31日)。作業期間は15日間、使用炭酸ガス量は60kg。

(環境調査モニタリング)

- ① 本館
 - (ア) 実施場所 第1～3棟の収蔵室と展示室、および正面受付と各棟出入口
 - (イ) 調査方法
 - I. 害虫調査 調査区域に害虫捕獲用シートを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 多孔板衝突法により浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 各室1～2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
 - (ウ) 調査期間 令和2年度は年2回(6月26日、10月31日)実施
 - (エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。
- ② 柳田収蔵庫
 - (ア) 実施場所 体育館・剣道場
 - (イ) 調査方法
 - I. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は10ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
 - (ウ) 調査期間 令和2年度は年1回(10月30日)実施
 - (エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

- ① 防塵用ノールマットの設置
 - ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第1収蔵庫、第2収蔵庫
 - イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ノールマット(30シート1綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

(3) 館蔵資料分類表

(R3.3.31)

資料区分		収集年度	平成30年度 収集資料数	令和元年度 収集資料数	令和2年度 収集資料数	資料総数
美術	購入		1	1	0	202
	寄付		2	6	5	
考古	購入		0	0	0	9,062
	寄付		727	2,370	0	
歴史	購入		0	0	8	85,002
	寄付		1,023	892	315	
民俗	購入		0	0	0	31,433
	寄付		0	195	141	
自然	購入		0	0	0	92
	寄付		0	0	0	
模型・複製	購入		0	0	0	229
	寄付		0	0	0	
パネル	購入		0	0	0	0
	寄付		0	0	0	
視聴覚	購入		0	0	0	236
	寄付		0	0	0	
図書	購入		1	0	0	2,093
	寄付		1,447	1,380	1,225	
合計			3,201	4,844	1,694	192,024

(4)貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	四高関係資料 115点	石川四高記念文化交流館で展示するため	R2.4.1～R3.3.31
(公財)石川近代文学館	雑誌「少女の友」 28点	石川近代文学館で展示するため	R2.4.1～R3.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 4箱	珠洲市立珠洲焼資料館で展示するため	R2.4.1～R3.3.31
能美市教育委員会	馬の線刻のある壺ほか 2点	能美市立歴史民俗資料館で展示するため	R2.4.1～R3.3.31
大阪歴史博物館・岐阜市歴史博物館ほか	頭如画像 1点	NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」で展示するため	R2.3.30～R2.11.19
前田土佐守家資料館	横山隆章画像 1点	企画展「武家官位と前田土佐守家」で展示するため	R2.4.20～R2.9.1
七尾市教育委員会	山岸ハリ塚古墳出土品(個人蔵) 20点	企画展「探検！七尾の古墳」で展示するため	R2.4.22～R2.5.28
兵庫陶芸美術館	撫手文花瓶 1点	「出石焼」展で展示するため	R2.4.28～R2.12.7
福井市立郷土歴史博物館	刀銘加州藤原住家次作ほか 4点	秋季特別展「北陸の古刀」で展示するため	R2.9.7～R2.12.3
富山県[立山博物館]	鉄打出二枚胴(複製)ほか 4点	特別企画展「戦国武将と立山」で展示するため	R2.9.17～R2.11.19
能美市立歴史民俗資料館	江戸より金沢上道中絵図ほか 2点	開館記念展「能美に伝わる信仰の世界」で展示するため	R2.10.1～R2.12.18
福井県立歴史博物館	北陸東海御巡幸石川県下越中国黒部川図ほか 3点	秋季特別展「明治から平成 皇族とふくい」で展示するため	R2.10.8～R2.12.14
石川県立自然史資料館	トキ「能里」の剥製 1点	企画展「いしかわの生物多様性とレッドデータブック」で展示するため	R2.10.31～R2.11.8
石川四高記念文化交流館	第四高等学校絵葉書 8点	石川四高記念文化交流館で展示するため	R2.11.1～R3.3.31
(公財)藩老本多蔵品館	前田利長画像(複製) 1点	秋季特別展「加賀本多家のはじまり」で展示するため	R2.11.20～R2.12.4
前田土佐守家資料館	貞享三年前田綱紀書状幅ほか 6点	企画展「加賀藩士と能」で展示するため	R2.11.27～R3.2.3

計16件201点

(5)写真貸与・特別利用状況

種別	点数
写真掲載・放映	108件159点(うち非館蔵品7件30点)
閲覧	2件59点(うち非館蔵品0件0点)
撮影	18件170点(うち非館蔵品1件68点)

計128件388点

4. 教育普及活動

(1) 一般広報

■新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌
各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

■テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

■マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の14社に随時情報を提供
県内放送局及び新聞社に随時情報を提供

■インターネットによる情報提供

当館ホームページ・Twitterで最新情報を公開
各種観光・イベント情報サイトへの掲載

■広報誌「石川れきはく」の発行（年1回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館そ
の他公共施設、れきはくメイト会員

■「れきはくメイト情報」の発行（年6回）

れきはくメイト会員への各種案内

■ポスター、チラシの配布

全国の博物館・大学・研究機関、県内の教育委員
会・小中学校・図書館・公民館その他公共施設、
宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所
管課、県内のコンビニエンスストア 他

■学校向けちらしの作成・配布

石川県立美術館等と北陸三県の小中学校等に案内
パンフレットを郵送

■新聞広告

(2) 出版

■機関誌「石川れきはく」 規格:A4 頁数:6 ページ 発行部数:1,100 部

令和2年度はNo.133を発行し、関係機関やれきはくメイト(友の会)等に配布した。



133号

(3) 案内解説・レファレンス

①団体への案内解説

案内解説を希望する団体へは、見学前に解説員が館概要と見どころを説明している（予約制）。個人に対しては音声ガイド*（無料）を勧めていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

専門的な内容の案内、および学術関係の問い合わせには学芸員が対応している。学校団体入館者向けに、展示室で利用できるワークシート「いしかわれきはくガイド」（ホームページからダウンロード可）を配布していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示室での利用は禁止した。

②外国人観覧者に対する解説

常設展示室のパネルの解説は、コーナー名称は4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）で示している。コーナーの解説文・資料名は2か国語（日本語・英語）のみであるため、音声ガイドにより外国人の観覧者への対応をしていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

また、インバウンド需要に対応するため、ホームページに外国語ページ（上記4か国）を追加し、公開している。

*音声ガイド…4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応、資料60点分の解説を収録
1点あたり約3分、全3時間

(4) 講座

■れきはくゼミナール

1. 対象・定員 どなたでも 定員 40名
2. 開催日 月1～2回程度 土曜日(全11回)
13:30～15:00
3. 受講料 無料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	7月18日	謎の豪族羽咋君	永井 浩	中止
2	7月25日	消えた花街－犀川河原と北廓－	大門 哲	20名
3	8月1日	長谷川等伯考－近年の研究ノートから－	北 春千代	20名
4	9月19日	一向一揆と北陸	岡崎 道子	40名
5	10月17日	江戸屋敷の食と器	野村 将之	40名
6	11月21日	加賀藩における前田利家の祭祀・顕彰	塩崎 久代	33名
7	12月12日	古代の日本海交流	三浦 俊明	24名
8	1月16日	第二代石川県令・桐山純孝	石田 健	19名
9	2月20日	津軽深浦越後屋庄兵衛	濱岡 伸也	中止
10	3月13日	金沢歌舞伎のその後 －女役者・坂東音芽の足跡から－	大井 理恵	19名
11	3月20日	近世後期の風景表現の特徴 －実景への興味と藩主の風景愛好趣味－	中村 真菜美	中止

■学芸員によるワンポイント解説

1. 対象・定員 どなたでも 定員 40名
2. 開催日 月1～2回程度 金曜日(全11回)
13:30～14:00
3. 受講料 常設展観覧料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	8月7日	青柏祭の人形見	大井 理恵	8名
2	8月21日	江戸時代の村社会	濱岡 伸也	13名
3	9月11日	金沢城二ノ丸御殿の内装見本について －加越能文庫本との比較から－	塩崎 久代	16名
4	9月25日	武士の近代	石田 健	11名
5	10月9日	史料が語る古代農民の暮らし	三浦 俊明	7名
6	10月23日	紺紙金字法華經の世界	岡崎 道子	11名
7	11月27日	加州刀の魅力－兼若考－	北 春千代	15名
8	12月25日	墨書土器と木簡	永井 浩	中止
9	1月22日	能登の当屋祭	大門 哲	10名
10	2月26日	コメづくりの伝来と弥生人の食生活	野村 将之	10名
11	3月26日	輸出九谷の世界	中村 真菜美	8名



第4回 れきはくゼミナール



第7回 学芸員によるワンポイント解説

■古文書講座

古文書の読み方や内容を分かりやすく解説する講座を、前期と後期の2回実施した。

	開催日	テーマ	担当者	
補講	8月6日	加賀藩の古文書を読む －青山家文書－	塩崎 久代	
	8月18日			
前期	12月9日	江戸時代の寺院と民衆 －大鑑コレクションの真宗寺院文書－		
	12月16日			
後期	1月21日	江戸時代の旅		濱岡 伸也
	2月18日			
	3月18日			

*前年度の補講を8月6日、8月18日に実施した。

*2月18日は中止し、3月18日に30分延長して講座を実施した。



古文書講座(後期 第1回)

(5) 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

歴史をより身近に感じてもらうため、学校や教育関係機関に当館所蔵のレプリカ資料を貸し出している。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)
白山市立千代野小学校	令和2年10月3日～11日	火縄銃 レプリカ 計1点
能美市立歴史民俗資料館	令和2年10月1日～23日	複製装飾付大刀(1点)、王冠(1点) レプリカ 計2点

◆職場体験事業受け入れ事業

例年は職場体験(中学生)・インターンシップ(大学生)を受け入れているが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。

(6) ワークショップ

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。

(7) 博物館実習

期間

令和2年8月24日(月)～8月29日(土)

実習生

立命館大学	文学部人文学科	1人
京都橘大学	文学部歴史遺産学科	1人
滋賀県立大学	人間文化学部地域文化学科	1人
八洲学園大学	生涯学習学部生涯学習学科	1人
金沢学院大学	文学部文学科	4人
	合計	8人



月 日	時 間	実習内容
8月24日 (月)	9:30～9:40	開講式
	9:40～10:20	オリエンテーション
	10:30～12:00	歴史博物館の使命と業務
	13:00～14:20	館内施設見学
	14:30～16:00	博物館の教育普及活動
8月25日 (火)	16:00～17:00	実習ノート作成
	9:30～12:00	歴史資料の取り扱い実習
	13:00～16:00	美術品の取り扱い実習
8月26日 (水)	16:00～17:00	実習ノート作成
	9:30～12:00	民俗資料の取り扱い実習
	13:00～16:00	考古資料の取り扱い実習
8月27日 (木)	16:00～17:00	実習ノート作成
	9:30～10:40	博物館資料の保存修復
	10:50～12:00	博物館の文化財保存環境
8月28日 (金)	13:00～16:00	展示評価実習
	16:00～17:00	実習ノート作成
	9:30～12:00	写真撮影実習
8月29日 (土)	13:00～16:00	資料梱包実習
	16:00～17:00	実習ノート作成
	9:30～12:00	資料整理実習
	13:00～15:00	展示評価実習
	15:10～16:00	質疑応答・総評・閉講式
	16:00～17:00	実習ノート作成

(8) れきはくメイトの運営

令和2年度

会員年齢構成

年齢層	性別		合計	%
	男	女		
	人	人	人	%
～10代	0	0	0	0
20代	0	0	0	0
30代	1	1	2	1
40代	7	3	10	4.8
50代	11	6	17	8.2
60代	28	19	47	22.6
70代	59	41	100	48.1
80代	23	4	27	13
90代～	2	1	3	1.4
不明	1	1	2	1
合計	132人	76人	208人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		七尾市	1	(県外)	
金沢市	148	中能登町	0	富山県	4
加賀市	1	能登町	2	福井県	1
小松市	6	輪島市	1	福島県	1
白山市	17	珠洲市	1	滋賀県	1
能美市	1	志賀町	0	兵庫県	1
野々市町	5	穴水町	0	栃木県	1
内灘町	6				
津幡町	4				
かほく市	3	県内		県外	
宝達志水町	2	(小計)	199	(小計)	9
羽咋市	1			総計	208

れきはくメイト情報の発行

号数	発行日	主な内容
210号	6月18日	Twitter企画「#おうちで楽しむ石川れきはく」・新任の学芸員紹介
211号	7月13日	夏季企画展『「加賀藩の文芸文化」－万葉集から狂歌まで－』
212号	9月15日	秋季特別展「加賀藩江戸屋敷－本郷邸の儀礼とくらし－」
213号	11月13日	スポット展「江戸時代の東本願寺再建 絵巻 寛政度の再建と真宗門徒」・「反古を宝にかえる 大鋸彦太郎コレクションの魅力」
214号	12月17日	館長講演会・古文書講座のご案内
215号	2月5日	企画展「れきはくコレクション2020」

メイト情報 210



*令和2年度の会員向けイベント（歴史散歩等）は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

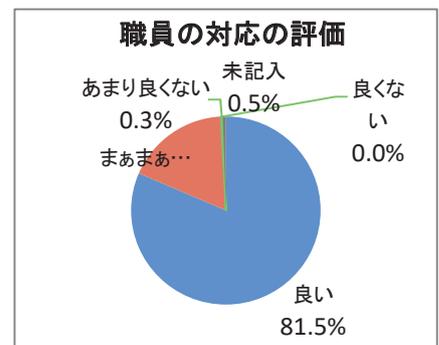
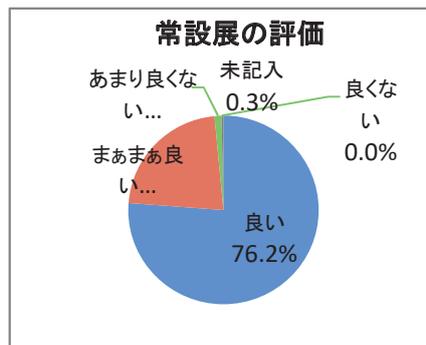
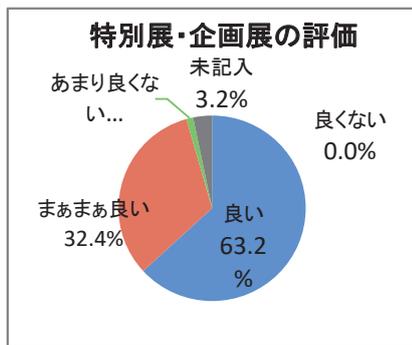
(9) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成18年度より学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、「歴史体験ひろば」内で主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行ってきた。令和2年度は、「歴史体験ひろば」の閉室および新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を中止した。

(10) 入館者調査(アンケート)

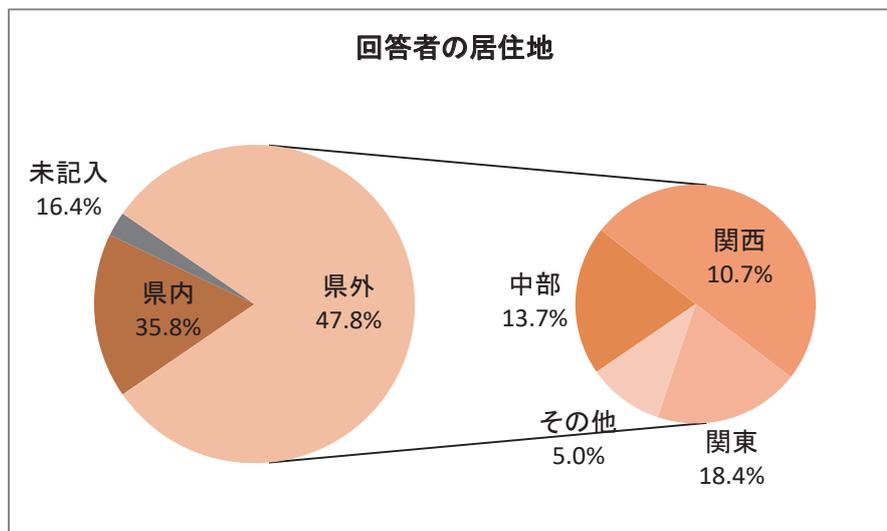
年間を通し、アンケート用紙に記入する方式で、来館者調査を行った。来館者に展覧会および博物館の評価と、来館者の情報を記入してもらった。評価は良い、まあまあ良い、あまり良くない、良くないの選択式と自由記述により、特別展・企画展の開催期間中は特別展・企画展と常設展・フリーゾーンについて、常設展のみの期間は常設展とフリーゾーンについて回答してもらった。下はその評価と、回答者の居住地を表・グラフにしたものである。

特別展の評価	良い	まあまあ良い	あまり良くない	良くない	未記入	回答数(%)						
春季特別展	-	-	-	-	-	-						
夏季特別展	-	-	-	-	-	-						
秋季特別展	73	65.8%	33	29.7%	3	2.7%	0	0.0%	2	1.8%	111	100.0%
加賀藩の文芸文化一万葉集から狂歌まで	39	52.0%	34	45.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.7%	75	100.0%
れきはくコレクション 2020	44	72.1%	13	21.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.6%	61	100.0%
計(%)	156	63.2%	80	32.4%	3	1.2%	0	0.0%	8	3.2%	247	100.0%
常設展の評価	256	76.2%	75	22.3%	4	1.2%	0	0.0%	1	0.3%	336	100.0%
職員の対応の評価	475	81.5%	103	17.7%	2	0.3%	0	0.0%	3	0.5%	583	100.0%



回答者の居住地

県内	県外	未記入	中部	関西	関東	その他	計								
182	19.5%	374	40.0%	27	2.9%	71	19.0%	175	46.8%	69	18.4%	36	9.6%	934	100.0%



5. 入館者状況

(1)令和2年度 いしかわ赤レンガミュージアム(歴史博物館・加賀本多博物館)入館者状況

歴史博物館

	有料						無料			小計	合計 (カウンター数)
	常設展			特別展	計	常設展	特別展	計			
	歴博単独券	本多共通券	計								
4月	29	52	81		0	81	23	0	23	104	2,717
5月	50	51	101		0	101	50	0	50	151	2,917
6月	177	244	421		0	421	110	0	110	531	5,856
7月	300	538	838		0	838	345	0	345	1,183	6,624
8月	469	750	1,219		0	1,219	748	0	748	1,967	7,443
9月	489	689	1,178		0	1,178	950	0	950	2,128	8,260
10月	855	779	1,634	秋	1,643	3,277	4,346	2,116	6,462	9,739	15,527
11月	1,233	1,434	2,667		934	3,601	3,416	887	4,303	7,904	16,073
12月	507	650	1,157		0	1,157	764	0	764	1,921	8,325
1月	165	190	355		0	355	280	0	280	635	6,128
2月	334	440	774		0	774	521	0	521	1,295	7,205
3月	579	710	1,289		0	1,289	775	0	775	2,064	10,163
年計	5,187	6,527	11,714		2,577	14,291	12,328	3,003	15,331	29,622	97,238

歴史博物館 特別展のみ入場内訳

特別展名	有料	無料	特別展計
春季特別展	0	0	0
夏季特別展	0	0	0
秋季特別展	2,577	3,003	5,580
計	2,577	3,003	5,580

(2)小・中・高等学校地区別入館者数

※個人を含む

地区	校種	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	入館者の割合
		校	人	校	人	校	人	校	人		
加賀地区(野々市市・白山市以南)		22	1,336	3	147	0	9	1	24	1,516	29
金沢		17	1,312	11	485	2	192	1	6	1,995	38
能登地区(河北郡以北)		7	276	2	59	1	38	0	0	373	7
富山県		7	426	4	305	1	17	0	0	748	14
福井県		0	8	0	3	0	0	0	0	11	0
その他		2	196	3	336	1	151	0	0	683	13
合計		55	3,554	23	1,335	5	407	2	30	5,326	100

Ⅱ. 施設概要

1. 設備概要

●受変電設備	受電電圧 6.6kV 変圧器容量 800kVA
●発電機設備	ディーゼル機関 1800mi ⁻¹ 発電機 300kVA 3相交流
●蓄電池設備	ベント型効率放電用ペースト式 据置型鉛蓄電池H-200A 54セル
●動力設備	動力設備 648kVA (一般 311kVA[エレベーター含] 24h負荷215kVA 防災負荷122kVA)
●電灯設備	照明器具 352台 (展示室内照度最高 150Lx 執務室内照度最高 750Lx)
●照明設備	展示室内 LED 、執務室・バックヤード [※] 高効率型蛍光灯・一般型蛍光灯
●構内交換設備	192回線 (局線 1回線/INS1回線/多機能28回線/内線21回線)
●放送設備	防災アンプ 480W / 3棟用アンプ 30W
●I T V設備	ネットワークカメラ 屋内40台 モニター32型
●テレビ・ラジオ共聴設備	アンテナ UHF -20EL
●来客カウンター設備	カウンター 8回線 / 3棟用 4回線 センサー 1棟4箇所 / 2棟1箇所 / 3棟1箇所(本多蔵品館1箇所)
●自動火災報知設備	GR型受信機(アナログ式、自動試験機能) 表示監視0A卓 19型TFTカラー
●給水設備	便所の便器洗浄系統……加圧給水方式 手洗い・飲料系統……市水直結方式
●給湯設備	電気温水器による局所方式
●排水設備	建物内分流方式、公共下水道放流
●消火設備	屋内消火栓……第一棟、第二棟 ハロゲン消火……第二棟の特別収蔵室、古文書室 スプリンクラー……第三棟
●排煙設備	機械排煙……第一棟、第二棟、第三棟 (3系統)
●融雪設備	井水散水方式、電熱線方式
●昇降機設備	第一棟……機械室レス、身障者用、13人乗り 第一棟、第二棟……油圧式、荷物・身障者併用、2.1t (2基) 第三棟……小型機械室レス、4人乗り
●空調設備	保存空調条件 Aランク収蔵 ・収蔵庫 21±1℃ RH55±5% ・企画展示室、特別展示室 21±1℃ RH60±5% 季節展示物による 空調方式 Aランク保存展示系統 ・変風量単一ダクト方式 ・第1棟. . . 企画展示室、特別展示室 ・第2棟. . . 収蔵庫 ・第3棟. . . 収蔵庫 一般系統 ・第1棟. . . ファンコイル外気処理併用方式

- ・第2棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・第3棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・渡り廊下(ほっとサロンを含む)
空冷ヒートポンプ・パレリメーター電気ヒーター・床暖房併用方式

熱源

- ・Aランク保存展示系統 (冷水+温水 . . . 蓄冷+蓄暖)
水冷モジュールチラー-264KW ×2モジュール
無圧温水ヒーター-116KW ×2モジュール都市ガス仕様
冷水槽56m³・温水槽84m³
- ・一般系統 (冷温水 . . . 密閉)
冷温水発生機150RT(50×3) 527KW 都市ガス仕様
- ・一般系統 (空冷ヒートポンプ エアコン)
空冷ビル用マルチエアコン 冷房能力165KW/暖房能力183KW
空冷パッケージエアコン 冷房能力10KW/暖房能力11.2KW

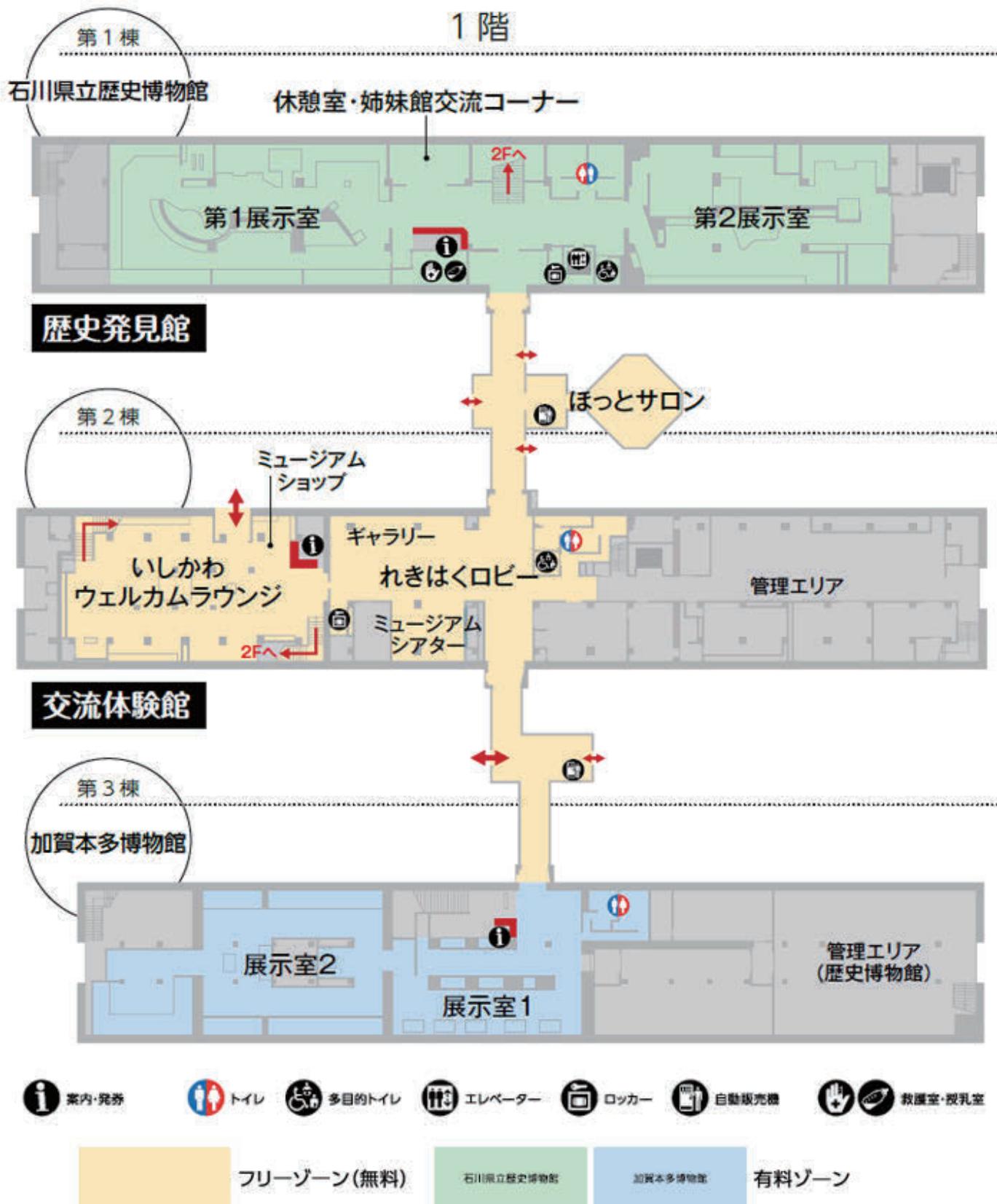
2. 各棟室面積一覧

2015/6/11

管轄	部門	階別	展示室		収蔵スペース		共用区分		機械室分		計	
			室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	階別	延べ
歴博	第一棟	1階	常設展示室1	396.19	第一倉庫	13.12	ほっとサロン	65.06	空調機械室1	34.92	1480.55	2767.83
			常設展示室2	364.21			渡り廊下1	99.18	空調機械室2	50.35		
							ホール	121.69	ファンルーム	11.47		
							その他	307.71	EV機械室	16.66		
			計	760.40	計	13.12	計	593.64	計	113.40		
		2階	企画展示室	274.42	第二倉庫	13.12	ホール	135.64	空調機械室3	37.23	1287.28	
			企画展示室準備室	114.20	第三倉庫	17.85	その他	162.28	サーバ-ルーム1	5.95		
			特別展示室	409.63	第四倉庫	6.01			サーバ-ルーム2	2.99		
			特別展示準備室	44.53	第五倉庫	17.62			サーバ-ルーム3	4.17		
			控室	19.16	機材倉庫	19.71			サーバ-ルーム4	2.78		
	計	861.94	計	74.30	計	297.92	計	53.12				
	第二棟	1階	ISHIKAWA移動展示場	310.29	倉庫A(1F)	18.04	渡り廊下2	100.25	中央機械室	199.58	1416.77	2721.76
			れきはくびと	250.57	倉庫B(1F)	7.50	館長室	51.88	受変電室	45.97		
			(うちみぎやうり)	(76.22)	倉庫C(1F)	6.50	副館長室	28.51	発電気室	39.32		
			(うちみぎやうり)	(45.77)	倉庫D(1F)	1.62	事務室	51.20	AV機室	14.47		
							警備室	17.46	消火機室	9.97		
							その他	250.17	EV機械室	13.48		
			計	560.86	計	33.66	計	499.46	計	322.79		
		2階	歴史体験広場(多目的ホール)	171.20	特別収蔵室	160.39	研究室	115.47	ファンルーム	13.31	1304.99	
			情報コーナー	93.96	古文書室	54.46	閲覧室	19.40				
			ワークショップスペース	146.81	文献図書室	49.02	解説員室	56.23				
					フィルム保管室	29.71	ボランティア室	18.37				
					倉庫A(2F)	21.78	その他	319.23				
					倉庫B(2F)	21.74						
計			411.97	計	351.01	計	528.70	計	13.31			
第三棟	1階			第1収蔵室	152.34	その他	60.23	機械室1	52.66	602.56	2249.79	
				第2収蔵室(1階)	270.57			機械室2	55.14			
								マルチメディア室	11.63			
	計	0.00	計	422.91	計	60.23	計	119.42				
	2階			第2収蔵室(2階)	529.06	その他	20.84			549.90		
計	0.00	計	529.06	計	20.84	計	0.00					
本多蔵品館	第三棟	1階	本多蔵品館展示室1	266.57			その他	45.83			646.52	
			本多蔵品館展示室2	334.11								
			計	600.69	計	0.00	計	45.83	計	0.00		
	2階	準備室	90.23	本多蔵品館収蔵室	153.93	事務室	28.52				450.81	
						会議室	78.18					
計	90.23	計	153.93	計	206.65	計	0.00					
クリスタル		1階	6.90									
合計			展示合計	3286.08	収蔵合計	1577.99	共用合計	2253.27	機械合計	622.05	7746.28	

敷地面積	26791.46
------	----------

3. 館内平面図



2階

第1棟

石川県立歴史博物館



第2棟

歴史体験ひろば
多目的ホール

情報
コーナー

ワーク
ショップ
ルーム

管理エリア

交流体験館

第3棟

加賀本多博物館



案内・発券



トイレ



多目的トイレ



エレベーター



ロッカー



自動販売機



救護室・授乳室



フリーゾーン(無料)



石川県立歴史博物館

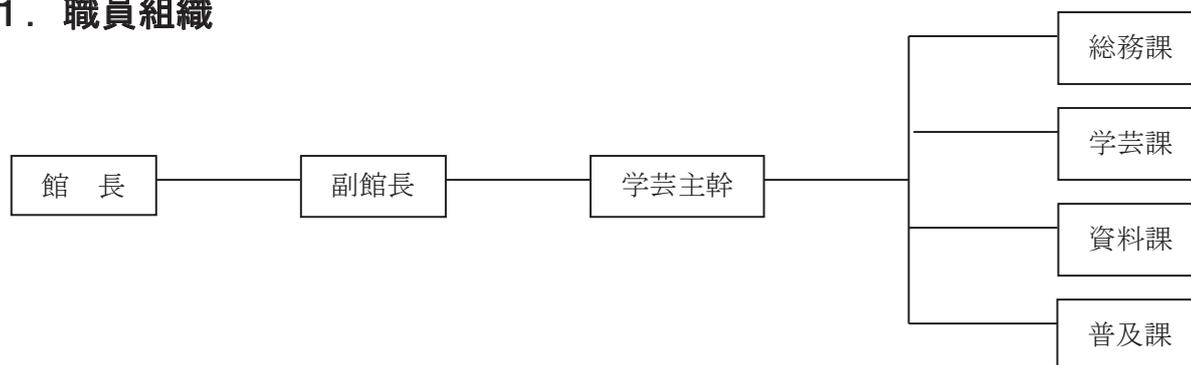


加賀本多博物館

有料ゾーン

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

令和2年度（令和2年4月1日現在）

館長（非常勤嘱託）	藤井 譲治	学芸課		普及課
副館長（〃）	宮崎 良則	課長（技術）（併）	大門 哲	課長（技術）（併）
学芸主幹（〃）（技術）	北 春千代	（本務 教育委員会、兼白山ろく民俗資料館）		（本務 教育委員会）
		学芸主任	大井 理恵	学芸主任（〃）
		（兼白山ろく民俗資料館）		（本務 教育委員会）
		学芸主任（併）	石田 健	学芸員
		（本務 教育委員会、兼石川四高記念文化交流館）		非常勤嘱託
		学芸員	中村真菜美	野村 将之
		非常勤嘱託	前多 令子	池村 由恵
総務課		資料課		
課長（事務）	粟 知之	学芸主幹兼課長(再)(技術)	濱岡 伸也	
企画管理専門員	大畠 雅野	学芸主査	（〃）三浦 俊明	
企画管理専門員	藤永 太郎	学芸員	岡崎 道子	
企画管理専門員	新出 秋江	非常勤嘱託	加藤 睦子	
業務主任(再)(技術)兼美術館	北 晃			
非常勤嘱託	山田ゆかり			

3. 予算及び決算

※定数内職員費を除く。

（単位：千円）

事業名	令和2年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運営費	71,956	72,978	71,712
案内解説事業費	19,814	19,814	19,742
展示費	45,857	24,998	24,695
調査普及費	19,010	17,058	16,438
資料整備費	1,600	1,600	1,582
国際交流費	1,644	0	0
施設整備費	6,866	6,008	6,008
計	166,747	142,456	140,177

4. 事務分掌

令和2年度(令和2年4月1日現在)

総務課	
1	課内事務の統括に関する事。
2	出納事務に関する事。
3	諸規定の運営に関する事。
4	防犯及び防災計画に関する事。
5	運営審議会の連絡調整に関する事。
6	他の課に属しない事務に関する事。
7	予算・決算に関する事。
8	委託等契約事務に関する事。
9	財産の維持及び管理に関する事。
10	情報政策推進員業務に関する事。
11	物品及び収入・支出経理に関する事。
12	文書管理事務に関する事。
13	公用車の運転及び整備に関する事。
14	県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。
15	職員の服務及び給与、旅費等に関する事。

学芸課	
1	学芸活動の企画・調整に関する事。
2	姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。
3	常設展の調整・改善に関する事。
4	特別展及び企画展の企画・調整に関する事。
5	展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。
6	石川の歴史遺産セミナーに関する事。
7	紀要の作成に関する事。
8	貸館の企画・調整に関する事。
9	寄贈図書等の受入・整理に関する事。
10	文化財情報の収集・整理に関する事。
11	その他学芸補助に関する事。

資料課	
1	資料の調査・受入に関する事。
2	資料の保存・修理に関する事。
3	資料の複製・模型に関する事。
4	資料の貸与及び特別利用に関する事。
5	借用資料のとりまとめに関する事。
6	収蔵品の保全・管理に関する事。
7	コレクション展に関する事。
8	運営審議会・資料評価部会に関する事。
9	博物館実習に関する事。

普及課	
1	普及事業の企画・調整に関する事。
2	学校教育との連携に関する事。
3	社会教育機関との連携に関する事。
4	県民大学校に関する事。
5	ホームページに関する事。
6	広報活動の企画・実施に関する事。
7	れきはくメイトに関する事。
8	入館者の動向調査に関する事。
9	ボランティアに関する事。
10	年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。
11	石川れきはく編集・発行に関する事。
12	各種印刷物の発送に関する事。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

(1) 運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館(以下「博物館」という。)の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会(以下「運営審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格(以下「資料の評価等」という。)に関し審議する専門部会(以下「資料評価専門部会」という。)を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

委員名簿 (13名)

(令和2年4月1日現在)

氏名	役職	委員の構成	備考
東四柳 史明	金沢学院大学名誉教授	学識経験者	資料評価専門部会員
小嶋 芳孝	石川考古学研究会会長	〃	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	金沢美術工芸大学名誉教授	〃	
笠井 純一	金沢大学名誉教授	〃	
小林 忠雄	加能民俗の会会長	〃	資料評価専門部会員
木越 隆三	金沢城調査研究所長	〃	資料評価専門部会員
野口 弘	金沢市教育長	〃	
能木場 由紀子	石川県婦人団体協議会会長	社会教育関係者	
室井 登美子	石川県小学校長会(金沢市立安原小学校長)	学校教育関係者	
四十住 基子	石川県中学校長会(珠洲市立三崎中学校長)	〃	
江尻 祐子	石川県高等学校長会(県立金沢二水高等学校長)	〃	

6. 入場料について

(1) 入場料の徴収(常設展)

入場料の徴収区分(歴史博物館)[常設展](平成27年4月17日より)

区 分	一般(18歳以上の者)	300円(240円)
	大学の学生及びこれに準ずる者	240円(190円)
※()は20人以上の団体料金		

・・・18歳未満は高校生でなくても無料である。
 ...大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づき許可を受けている学校の学生。
 (年齢不問ただし証明するものがあること)

(2) 入場料の減免基準

項 目 (減免基準)	歴史博物館	
	特 別 展	常 設 展
小学校、中学校、高等学校 及び 特別支援学校 が教育課程に基づき教育活動として入場するとき	児童・生徒	無料
	引率者	無料
入館を予定する学校団体の教師 (下見)	無料	無料
ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者 (事前に申し出た場合に限る)	無料	無料
幼稚園、保育園等の団体の引率者	無料	無料
65歳以上の方	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
身体障害者手帳 又は 療育手帳 又は 精神保健福祉手帳 を所持する方	無料	無料
上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている方	無料	無料
社会福祉施設(石川県社会福祉協議会に加入している施設)の入所者、通所者	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
石川県立歴史博物館 れきはくメイト会員証 を所持する方	団体料金	無料
いしかわ文化の日(毎年10月の第3日曜日)	団体料金	無料
兼六園周辺文化の森の相互割引 対象施設(国立工芸館、石川県立美術館、いしかわ生活工芸ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢ふるさと偉人館) 主催展覧会(会期中)のチケット半券を所持する方	団体料金	団体料金
石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館友の会会員証を所持する方	団体料金	団体料金
石川県博物館協議会 会員証 を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
日本博物館協会 会員証 を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
KGGN(金沢グッドウィルガイドネットワーク)の身分証明書 を所持する方	無料	無料
タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員 及び ボランティアガイド‘まいどさん’で観覧者と同行して入場する方(通訳を含む)	無料	無料
兼六園・文化施設共通利用券「兼六園プラス1利用券」を所持する方	団体料金	無料
金沢市文化施設共通観覧券(1DAY、3日間、1年間パス)を所持する方	団体料金	団体料金
いしかわ観光旅パスポート を所持する方	—	団体料金
「婚パス(石川しあわせ婚応援パスポート)・婚パスお試しクーポン」を所持する方	—	団体料金
加賀百万石回遊ルート「SAMURAIパスポート」を所持する方	—	無料
「金沢・加賀・能登ぐるりんパス」(JR)を所持する方	団体料金	無料
「金沢市内1日フリー乗車券」(北鉄バス)を所持する方	団体料金	団体料金
金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券を所持する方 と 同伴者1名まで	団体料金	団体料金
「学パス(学生のまちパスポート)」を所持する方	—	無料
「IJSPパス」を所持する方 ※Ishikawa Japanese Studies Program	—	無料
JAPAN TENT(ジャパントント)の留学生・研修生の方	無料	無料
いしかわ観光特使 に任命された方	無料	無料

※上記は、展示内容等により変更する場合があります

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和 32 年 3 月 27 日条例第 14 号)

(設 置)

第 1 条 地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 244 条第 1 項、図書館法 (昭和 25 年法律第 118 号) 第 10 条、博物館法 (昭和 26 年法律第 285 号) 第 18 条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (昭和 31 年法律第 162 号) 第 30 条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第 2 条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、次のとおりとする。

名 称	位 置	事 業 内 容
石川県立 歴史博物館	金 沢 市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に 関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和 61 年 3 月 22 日条例第 24 号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則 (平成 27 年 3 月 31 日石川県規則第 16 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和 32 年石川県条例第 14 号) 第 11 条の規定により、石川県立歴史博物館 (以下「歴史博物館」という。) の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 歴史博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、展示室への入室は、午後 4 時 30 分までとする。

(休館日)

第 3 条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 1 月 1 日から同月 3 日まで及び 12 月 29 日から同月 31 日まで

(2) 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第 4 条 前 2 条の規定にかかわらず、知事が特に必要があるとき認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第 5 条 石川県立歴史博物館長 (以下「館長」という。) は、次の各号の 1 に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- (1) 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- (2) 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- (3) 前 2 号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第 6 条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと (特に指定した展示品を除く。)
- (2) 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- (3) 館長の許可を受けないで、展示品の撮影、模写等をしないこと。
- (4) 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第 7 条 歴史博物館が所蔵する資料 (以下「所蔵品」という。) の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等 (以下これらを「特別利用」という。) をしようとする者は、別記様式第 1 号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第 1 号は省略

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第 1 項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付すことができる。

4 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第8条 歴史博物館の施設(特別展示室、企画展示室、ギャラリーに限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めたときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。

3 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしないことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第10条 第8条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設(以下「使用許可施設」という。)以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと(第三者をして行わせる場合を含む)。
- (4) 第5号各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者がいるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第 20 条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）又は石川県文化財保護条例（昭和 32 年石川県条例第 41 号）の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

（資料の受託）

第 21 条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

（雑 則）

第 22 条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 18 年 6 月 30 日規則第 43 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 31 日規則第 16 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第 2 条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第 3 条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表 1 のとおりとする。

(施設使用料)

第 4 条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者（別表 2 において「使用者」という。）から施設使用料を徴収する。

2 施設使用料の額は、別表 2 のとおりとする。

(使用料の納付等)

第 5 条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めたときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第 6 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第 2 項の規定は昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。（昭和 61 年 10 月規則第 43 号で、同 61 年 10 月 25 日から施行）

2 石川県立郷土資料館入場料条例（昭和 43 年石川県条例第 38 号）は、廃止する。

附 則（平成元年 3 月 24 日条例第 5 号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成元年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 18 年 6 月 30 日条例第 29 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号）

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1（第 3 条関係）

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体(20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	300円	240円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	240円	190円

2 特別展示を観覧する場合

1,500 円の範囲内で知事とその都度定める額

別表第 2(第 4 条関係)

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金（次項において「料金」という。）を徴収しない場合

区 分	単 位	施設利用料の額
特別展示室	1日につき	18,920円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に 100 分の 130 を乗じて得た額

3 企画展示室に係る使用料の額については、第 2 項の施設使用料の例により知事とその都度定める。

備考

1 「1 日」とは、午前 9 時から午後 5 時までをいう。
2 使用時間が 1 日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該 1 日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則 (平成 28 年 3 月 25 日 規則第 9 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例（昭和 61 年石川県条例第 26 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第 2 条 条例第 3 条第 1 項の規定により入場料を徴収したとき（前納したときに限る。）は、当該被徴収者に別記様式第 1 号に規定する入場券を交付す

るものとする。

(使用料の後納)

第 3 条 条例第 5 条第 1 項ただし書きの規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 旅行業法（昭和 27 年法律第 239 号）第 3 条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。
- (2) その他石川県立歴史博物館長（以下「館長」

という。)が特別の理由により必要と認めたと
き。

(使用料の返還)

第4条 条例第5条第2項ただし書きの規定により

使用料を返還することができる場合及びその割合
は、次のとおりとする。

- (1) 管理上の必要により、施設の使用の許可を取
り消したとき。 施設使用料の全額
- (2) 施設の使用許可を受けた者が使用開始前 10
日までに使用の取消しを届け出たとき。 施
設使用料の 100 分の 60 に相当する額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認め
たとき。 入場料又は施設使用料のうち館長
が相当と認める額

2 前項の規定により使用料の返還を受けようとす
る者は、別記様式第2号に規定する使用料返還請
求書に入場料の返還の場合にあつては、入場券を
添えて、館長に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第5条 条例第5条第3項の規定により使用料を減
免することができる場合及びその割合は、次のと
おりとする。

- (1) 小学校、中学校、義務教育諸学校、高等学校
及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者
が教育課程に基づく教育活動として入場す
るとき。 使用料の全額
- (2) 生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）に基
づく生活扶助又は教育扶助を受けている者
で県内に居住する者が入場するとき。 使用
料の全額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認め
たとき。 入場料又は施設使用料のうち館長
が相当と認める額

2 前項の規定により入場料の減免を受けようとす
る者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和 61 年 10 月 25 日から施行する。

附 則（平成元年 3 月 31 日規則第 25 号）

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年月 28 日規則第 33 号）

この規則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 11 年 3 月 31 日規則第 35 号）

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定
に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の
調整をして使用することができる。

附 則（平成 18 年 6 月 30 日規則第 41 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日規則第 22 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。附

則（平成 28 年 3 月 25 日規則第 9 号）

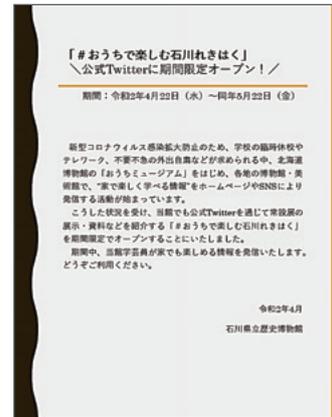
この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

V. 日記（抄）

令和2（2020）年4月1日～令和3（2021）年3月31日

令和2年度（2020）

- 4月11日 休館（～5月17日まで）
- 4月22日 公式Twitter企画「#おうちで楽しむ石川れきはく」（～5/22）
- 6月15日 検温カメラの導入
- 7月18日 夏季企画展「加賀藩の文芸文化－万葉集から狂歌まで－」開催（～9/6）
- 7月18日 れきはくゼミナール①（中止）
- 7月23日 公式Twitter企画「れきはくフォトコレ」（～8/16） * Twitter上でのフォトコンテスト
- 7月25日 れきはくゼミナール②
- 8月1日 れきはくゼミナール③
- 8月6日 古文書講座後期②「加賀藩士の古文書を読む－青山家文書－」（補講）
- 8月7日 学芸員によるワンポイント解説①
- 8月18日 古文書講座後期③「加賀藩士の古文書を読む－青山家文書－」（補講）
- 8月21日 学芸員によるワンポイント解説②
- 8月23日 MWミニコンサート
- 9月11日 学芸員によるワンポイント解説③
- 9月19日 れきはくゼミナール④
- 9月25日 学芸員によるワンポイント解説④
- 10月1日 休館（～10月2日まで）
- 10月9日 学芸員によるワンポイント解説⑤
- 10月10日 秋季特別展「加賀藩江戸屋敷一本郷邸の儀礼とくらしー」開催（～11/8）
- 10月11日 ミュージアムミニコンサート
- 10月11日 特別展のみどころ解説①
- 10月15日 運営審議会
- 10月17日 れきはくゼミナール⑤
- 10月23日 学芸員によるワンポイント解説⑥
- 10月25日 伝統工芸制作体験ワークショップ「加賀ぬいアクセサリーづくり」
- 10月31日 特別展のみどころ解説②
- 10月31日 特別展のみどころ解説③
- 11月8日 伝統工芸制作体験ワークショップ「丸谷焼絵付け体験」
- 11月9日 休館（～11/10）
- 11月21日 れきはくゼミナール⑥
- 11月27日 学芸員によるワンポイント解説⑦
- 12月9日 古文書講座前期①「江戸時代の寺院と民衆」
- 12月12日 れきはくゼミナール⑦
- 12月13日 MWミニコンサート
- 12月16日 古文書講座前期②「江戸時代の寺院と民衆」
- 12月25日 学芸員によるワンポイント解説⑧（中止）
- 12月28日 年末年始休館（～1/3）/消防訓練
- 1月16日 れきはくゼミナール⑧
- 1月21日 古文書講座後期①「江戸時代の旅」
- 1月22日 学芸員によるワンポイント解説⑨
- 2月12日 休館
- 2月13日 企画展「れきはくコレクション2020」（～3/21）
- 2月13日 レトロ建築紹介講座
- 2月20日 れきはくゼミナール⑨（中止）
- 2月21日 れきはくコレクション2020 見どころ解説
- 2月26日 学芸員によるワンポイント解説⑩
- 2月28日 ミュージアムミニコンサート
- 3月11日 運営審議会
- 3月13日 れきはくゼミナール⑩
- 3月13日 首里城彫刻復元資料展（ギャラリーにて～3/28）
- 3月14日 れきはくコレクション2020 見どころ解説
- 3月18日 古文書講座後期②「江戸時代の旅」
- 3月20日 れきはくゼミナール⑪（中止）
- 3月22日 休館
- 3月26日 学芸員によるワンポイント解説⑪



#おうちで楽しむ石川れきはく



れきはくフォトコレ



ミュージアムミニコンサート



小学校の団体見学



れきはくコレクション2020 みどころ解説

VI. 各種書式

石川県立歴史博物館特別利用許可申請書

年 月 日

石川県立歴史博物館長 様

住 所

(所在地)

申請者 氏 名

(名称及び代表者の氏名)

電話番号

下記資料の特別利用を許可して下さるよう申請します。

記

特 別 利 用 資 料 名	
利用日時	年 月 日 時 ~ 時
利用内容	
利用目的	
備 考	

備考 資料の所有権又は著作権が当館の他にあるものについては、それぞれ当該所有権者又は著作権者の許可書を添付すること。

石川県立歴史博物館 年報
第 23 号 令和2年度版
令和 4 年 3 月 31 日発行

発 行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町 3 番 1 号
T E L (076)262-3236